

クライアントとサーバーのバージョンについて

FKSとCOMPASSは、「クライアントシステム」と「サーバーシステム」の2つのシステムの組み合わせで動いています。

そしてこの2つのシステムはともに、同じリビジョンである必要があります。

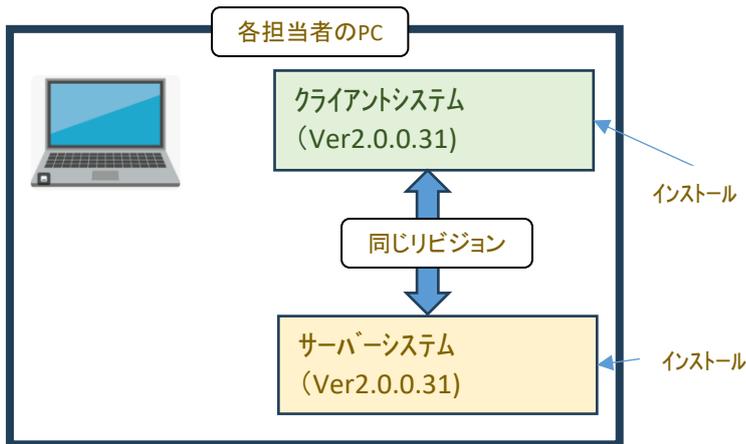
リビジョンが異なっていると、不必要なエラーが頻発する可能性があります。

※リビジョン: プログラムの世代を管理するバージョン番号の最後の数字

(例) Ver2.0.0.31 ←31がリビジョン番号

1. ソフトウェアの構成

【スタンドアロンのみでの運用の時】

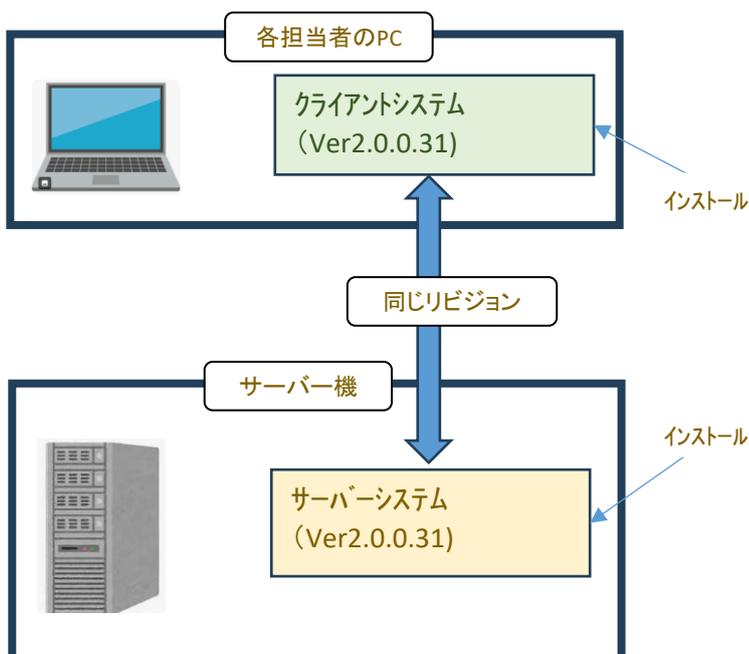


(COMPASSの例)

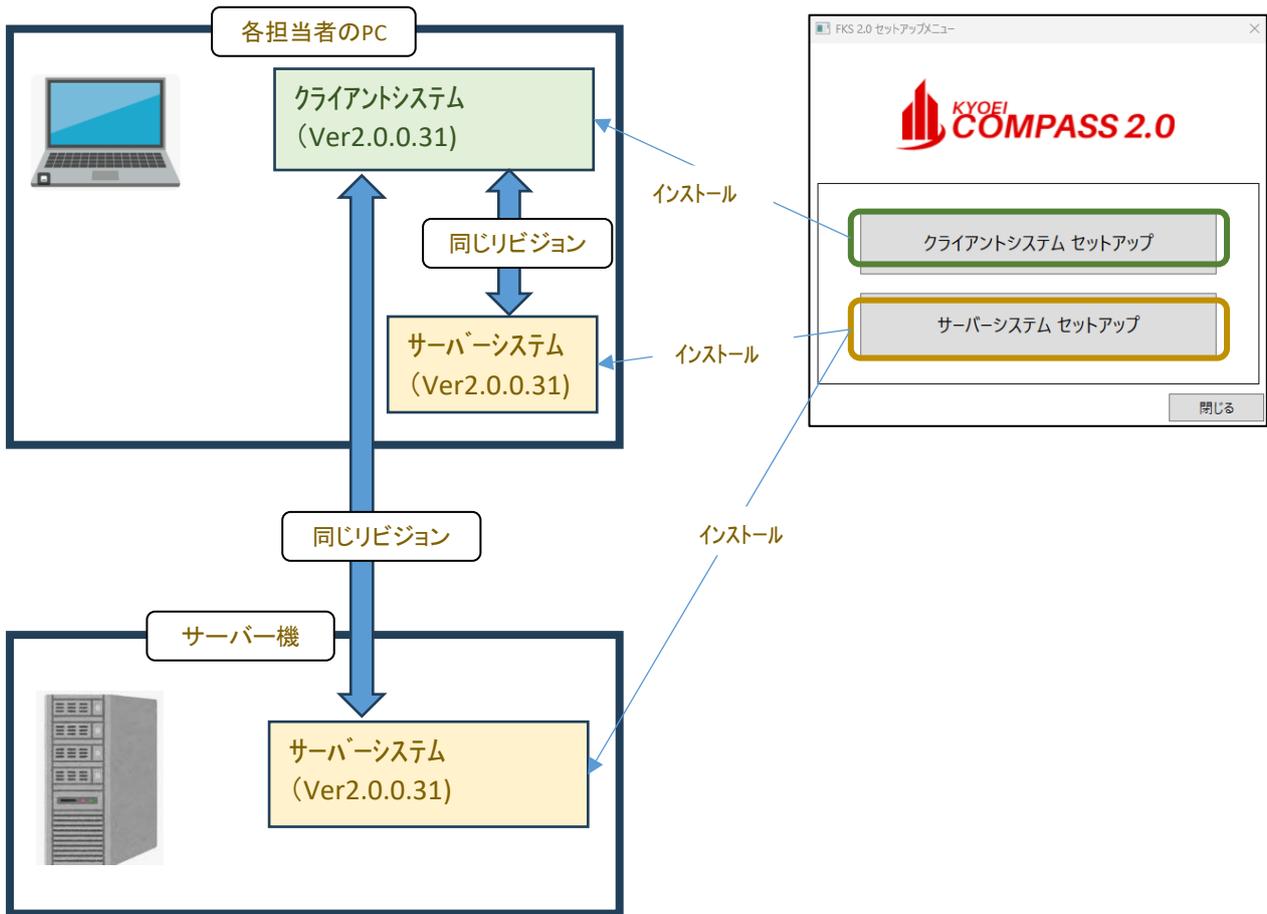


※スタンドアロン運用の時でも、「サーバーシステム」のインストールは必須です

【C/S (クライアントサーバー型) のみでの運用の時】



【スタンドアロンとC/Sの両方での運用の時】



2. 修正版の適用について

公開される修正版は、必ず、クライアント用の修正版とサーバー用の修正版の2つが提供されます

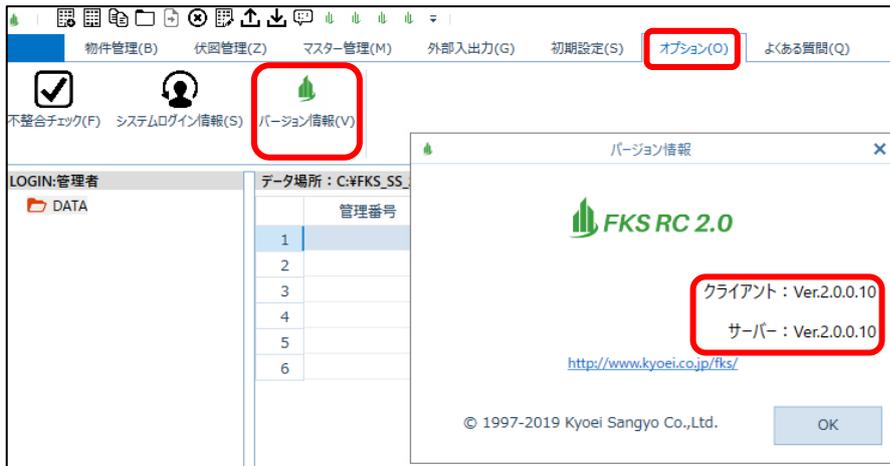
(COMPASSの例)

-  COMPASS_2.0_CLIENT_Update_R31.exe ←クライアントシステム用の修正版
-  COMPASS_2.0_SERVER_Update_R31.exe ←サーバーシステム用の修正版

上記ソフトウェアの構成に照らし、クライアントシステムがインストールされている環境にはクライアントシステム用の修正版を適用し、サーバーシステムがインストールされている環境にはサーバーシステム用の修正版を適用してください。

3. バージョン（リビジョン）の確認方法

FKSの場合は、ログイン後の物件一覧画面で、[オプション]-[バージョン情報]で、クライアントシステムとサーバーシステムのバージョンが確認できます。



※ちなみに、各システムのログイン画面に表示されているのは、クライアントシステムのバージョンになります。
(RC2.0の例)



←クライアントシステムのバージョンが2.0.0.10

COMPASSの場合は、古いバージョンだとサーバーシステムのバージョンは表示されないので、以下の方法で確認します

①以下のフォルダにある、K-ESCOMPASS_SERVER.dllを右クリックし、プロパティを選択

- ・COMPASS/SSの場合
サーバーシステムをインストールしたドライブの以下のフォルダ
KC_SS_SERVER¥SYSTEM¥bin
- ・COMPASS2.0の場合
サーバーシステムをインストールしたドライブの以下のフォルダ
FKS_SS_2_SERVER¥KC_SS_SERVER¥SYSTEM¥bin

②詳細タブの製品バージョンを確認

